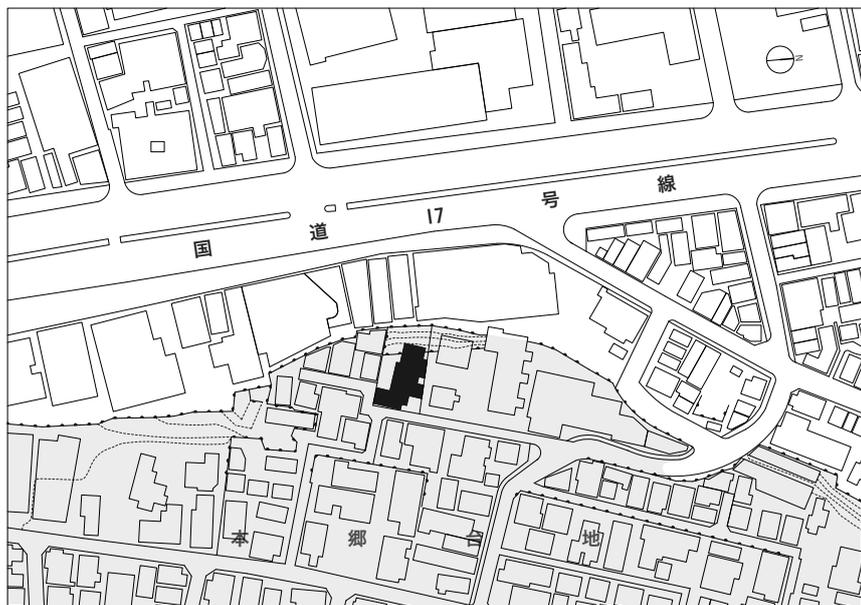




photo: Akio Nagashima

離れた場所を想像すること、あるいは想像的に体験すること。それは歴史が現在することの条件だと言えるが、atelier nishikata による《4 episodes》(2014) は、まさにそうした時空間の連続と不連続を内包した作品だ。住宅の改修計画として進められた《4 episodes》では、築 40 数年の木造家屋に新しく 4 つの部屋が作り出された。極めて形式性が強いそれらの部屋は、既存の家屋や既存の環境と、どのような連続／不連続の関係にあるのだろうか。またそれらの離れた部屋同士で、どのような連続／不連続の体験がもたらされるのだろうか。さらにそうした作品を成り立たせている建築の思考は、人類の建築の文化とどのように連続／不連続しているのだろうか。それらは『建築と日常』が考えるべき問いであり、今回寄稿していただいた岡崎乾二郎氏のテキストが、その一つの導きになるだろう。



敷地図 1/2800

PROFILE

atelier nishikata (あとリエ・にしかた)

小野弘人 (1965 年生まれ) と西尾玲子 (1967 年生まれ) が主宰する建築設計事務所。文京区西片にて 2000 年設立。《淡路町の家》(2001) で東京建築士会住宅建築賞金賞を受賞。

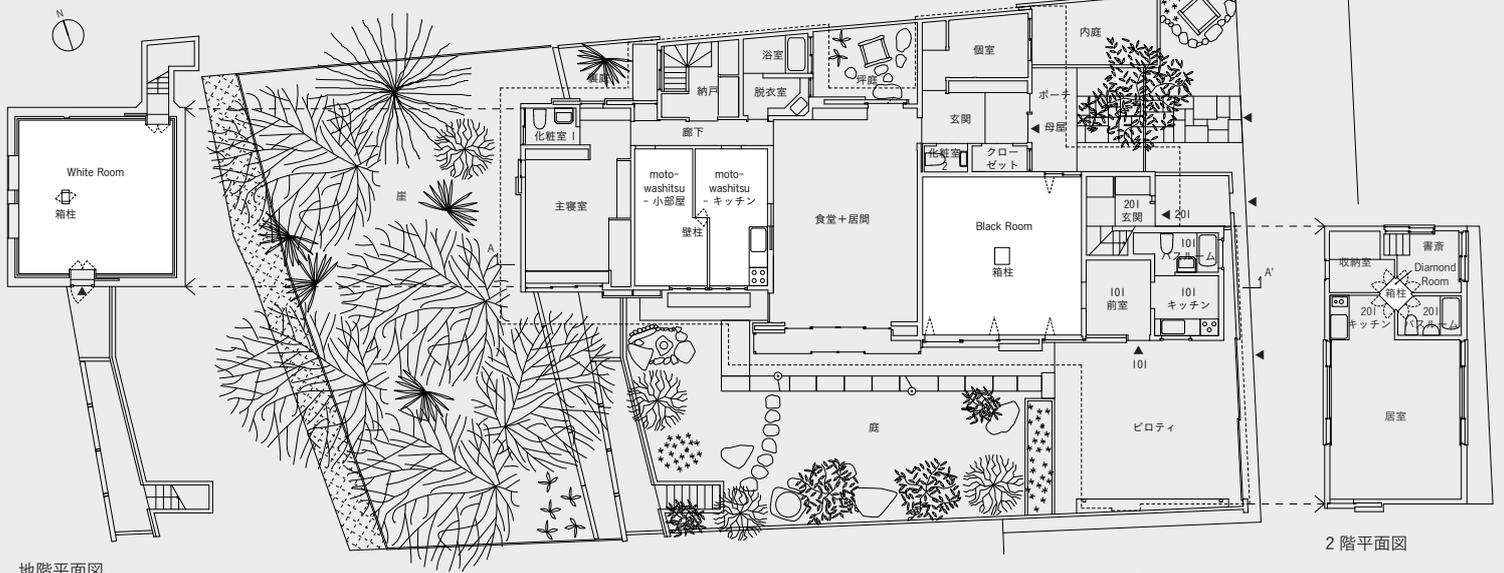
岡崎乾二郎 (おかざき・けんじろう)

1955 年東京生まれ。造形作家、批評家。近年、建築設計も多く手がける。本誌では No.1 (2010) で、インタビュー「建築が思想をもつ条件」と住宅作品《Blockhouse Sunagawa》(2010) を掲載。

4 episodes

設計 = atelier nishikata

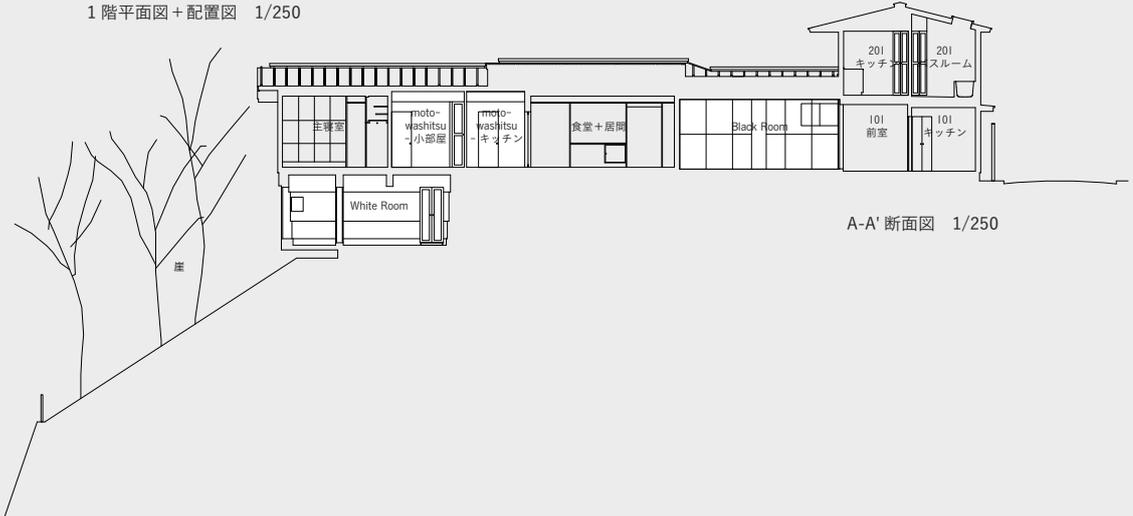
文 = 岡崎乾二郎 写真 = 山岸 剛



地階平面図

1階平面図+配置図 1/250

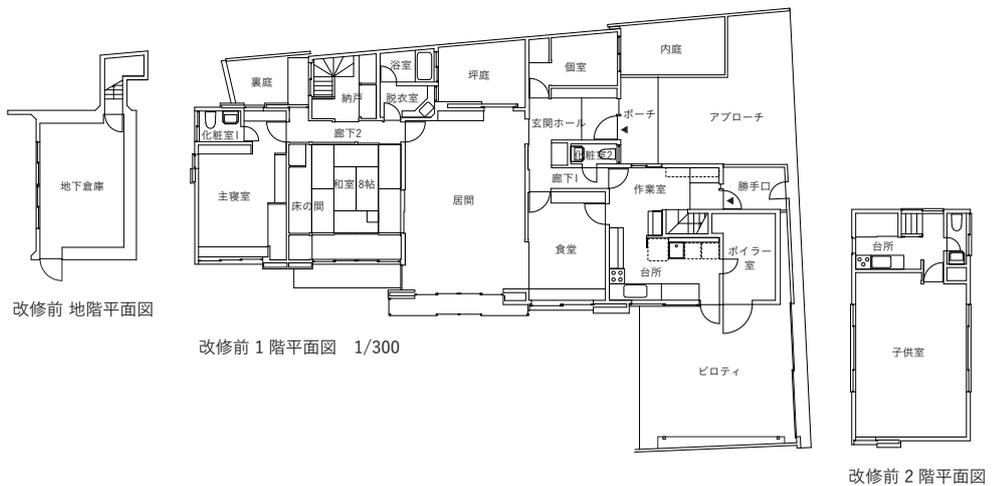
2階平面図



A-A'断面図 1/250

DATA

所在：東京都文京区
 設計：atelier nishikata (小野弘人、西尾玲子)
 構造設計：OUVI (横尾真、木佐美慶太)
 既存設計：鈴木彰建築事務所 (1969年竣工)
 施工：潤工務店 (White Room)、成田工務店 (その他)
 設計期間：2009.7 ~ 2010.7、2012.3 ~ 2013.1
 施工期間：2011.8 ~ 2012.7、2013.6 ~ 2014.1
 敷地面積：511.85㎡
 建築面積：202.85㎡
 延床面積：237.33㎡
 主体構造：木造 一部鉄筋コンクリート造
 掲載媒体：『新建築住宅特集』2015年2月号



改修前 地階平面図

改修前 1階平面図 1/300

改修前 2階平面図

4 episodes

東京都内の住宅街に建つ戸建住宅の増築+耐震改修計画。敷地は本郷台地の西端に位置し、約三分の一を崖状斜面が占める。既存の家屋は、東側の道路に面して二階を有し、敷地奥の斜面に地下倉庫を持つほかは平屋建てで、庭に面して東西に居室が連なるプランだった。当初は、地下倉庫をギャラリーやアトリエ兼寝室とするための増改築工事が、単独で進められた (White Room)。その後、東日本大震災によって耐震補強の必要性が高まったこと、介護と家の維持管理の負担軽減のため建主が生活領域の縮小を要請したことから、三つの住戸に分割する耐震改修計画に至った。

4 episodes ① ② White Room' moto-washitsu' Black Room' Diamond Room を指している。それぞれ改修された領域を代表する部屋である。既存建物の寸法体系に潜在していた正方形を共通の枠組みとし、各部屋には「箱柱」または「壁柱」が備わる。moto-washitsu「壁柱」の二枚の壁と「Black Room「箱柱」の内部に据えられた十字型の壁は共に木造で、地震力を受ける。また「White Room」の「箱柱」は鉄筋コンクリート造「Diamond Room」の「箱柱」は鉄骨造と、それぞれ既存躯体に做った方法で荷重を支えている。「箱柱」や「壁柱」は、このような力学要素であるだけでなく、場を分節したり結びつけたりする空間要素としても人の生活に働きかけている。

一戸建ての外観は、一つの建物であることを視覚的に保証するが、一つのまともな秩序が築かれることを保証するものではない。互いに隔てられ離ればなれになった4 episodesが一つの建物の経験として与えられるためには、各 episode がくっきりとした輪郭を持って立ち、なおかつ他の episode と空間的な関係を持つ必要があった。「箱柱」や「壁柱」はこのような episode どうしの関係を取り結ぶ具体的な事柄でもあるのだ。タイトル「episode は「個々の、しかし全体に關係する出来事」という英単語の意味に由来する。(atelier nishikata)